

# きたかぜ たいよう 北風と太陽

「じゃあ、次はぼくがやってみるよ。」太陽はそう言うと、ゆっくりと男を照らしました。「ああ、やっと暖かくなった。」太陽が出てきたので、男は少し安心したようです。男はマントを手で持つのをやめました。次に、太陽は照らす力を少し強くしました。「ちょっと暑くなってきた。」男はそう言うと、マントを一枚脱ぎました。「よし、今だ！」太陽は男がマントを脱ぐのを見て、照らす力をもっと強くしました。「暑い。急に暑くなってきた。」男はそう言って、もう一枚のマントも脱ぎました。「やった！」太陽は喜びました。それから、太陽は力を弱くして、やさしく男を照らし続けました。

北風はおどろきました。太陽がマントを簡単に脱がせたからです。おれの風では脱がせることが出来なかったのに、なぜ太陽はマントを脱がせることができたんだ？太陽は言いました。「北風は男の気持ちを考えていなかったよね？力を使うだけだと人は動かないよ。人の気持ちを考えないといけないんだ。」北風はそれを聞いて、言いました。「わかった。君はおれより強いよ。」とうとう二人の長かったケンカは終わりました。人に何かをさせるときや、お願いするときは、北風のように力を見せるだけではうまくいきません。太陽のように人の気持ちを考えることが大切です。